

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報  
 1-1. 申請団体

団体名	東かがわ市	代表者名	上村 一郎
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0879-26-1215
担当者役職	室長	担当者氏名	植田 雅仁
		連絡先E-mail	
住所	769-2792 香川県東かがわ市湊1847番地1		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望  
 支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	前年度より本市アドバイザーとして支援を受けており、全国規模でアドバイザー等の職務を長年にわたり行っているため、保有する知識量が豊富なことから、事例を含めた適切なアドバイスをいただけている。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、よろしくお願いします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年5月25日	事前打合せ(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			15時00分	17時00分	
				活動時間(分)	120
3-2. 派遣場所	会場名	東かがわ市役所	最寄駅	讃岐白鳥駅	
	所在地	香川県東かがわ市湊1847番地1	最寄駅からの交通手段	タクシーまたは徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可  
 掲載許可  掲載可 <https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和4年度でのワーキンググループ会議がどのような方法で進めると身のあるものとなるかのアドバイスを求めている。研修に関しては、管理職やデジタルリーダーによって立場や役割の違いから研修内容が異なるため、立場毎でデジタル化の更なる推進を図りたい。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	本年度より実施するシステムの安定した導入を目指している。また、次年度以降に実施する具体策の決定するために必要となる知識や技術に加え、本市DXに向けた新しい試みを立案するためにデジタルリーダーや関係機関との間で有用な検討方法のアドバイスを受け、戦略に達成に向けた準備を行う。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	デジタル化した内容を広報等を用いて発表することがDXを進めることが有用とされる。組織として、情報システム担当とデジタル推進担当は別とした方がよい。新しい試みを考えてデジタル田園関連の補助を活用することが必要。第2回目では、各役割に対する研修を実施する。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	昨年度、デジタル化した施策はあるものの、広報や報道等に公開していないので、本年度はできる限り報道していくことが必要と思った。その他の支援に関しては、これからの本市のワーキンググループ会議の内容と具体的な方法をアドバイザーに見ていただき、随時、改善的の支援を受ける予定としている。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	第2回目以降の研修会に必要とされる具体的な資料等	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、事前協議のためアンケートはない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	市民向け・職員向けのデジタル化を図り、土台となる情報基盤の整備を形成、本市DXに向けた推進を実施する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

